

きたすま

パンを裂くと、彼らはイエスだと分かった（ルカ24・30-31）

No.202(5月号)

2020年4月26日発行

発行 カトリック北須磨教会

〒654-0151

神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡

編集 広報委員会

いのちを守るための行動

西ブロック 垂水教会担当司祭 林 和則

毎年、復活祭のころ世界は春を迎えて、暖かな春風が吹きわたる中で、地には桜をはじめとして色とりどりの花が咲き乱れ、小鳥のさえずりまでが何か春の喜びを歌うかのように、ほがらかに聞こえます。今年もその情景はまったく変わっていません。大きな災害によって建物が倒壊しているわけでもありません。戦争が起こって、銃弾や爆弾、ミサイルが降ってきているわけでもありません。見た目には何も変わってはいません。

けれども、私たちは「ウイルス」という目には見えない脅威の前に自粛し、外出もままなりません。そのために聖週間の典礼が教会聖堂において行われないうような異常な事態になりました。主日はもちろん、平日のミサも中止されています。皆さんにとって大きな痛みであろうと思います。「なぜ、ここまで」と思われる方がたもいらっしゃるかも知れません。

教会が今、このような措置を取っているのは単に社会情勢への対応だけでなく、キリストの隣人愛にもとづいた「すべてのいのちを守るための行動」なのです。これにつきましては、3月29日の東京教区のネット中継ミサでの菊池大司教様の説教がとてもよくその意味を語ってお

られます。

「コロナウイルス感染の蔓延は、わたしたちに、すべてのいのちを守るためには、自分の身を守るだけでなく、同時に他者のいのちにも心を配る思いやりが必要なのだということをお願いしています。すなわち、すべてのいのちを守るための行動は、社会の中での連帯と思いやりを必要としています」

全文は東京教区のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

コロナウイルス感染の蔓延は間違いなく災厄ではありますが、私たちはそれにただ耐えるだけではなく、この状況を信仰生活のために少しでも活かすように取り組むことが、神への揺るぎない信頼を示すことになると思います。ミサに与れない、外出ができないという状況ゆえに、いつもより聖書を読み、黙想することに時間を用いるようにすれば、どうでしょうか。

日本の潜伏キリシタンが約230年もの間、ミサを待ち望みながら、信仰生活を守り抜いたことを心に留めましょう。



評議会だより

皆さま、いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスの感染は私たちが思う以上、全世界を恐怖に脅かしています。

大阪教区より2月26日コロナウイルス感染に伴う措置、第一次が出されました。刻々と変わる世界の状況、そして日本の状況。大阪教区のホームページと教会へFAXの確認に行くことが大切になりました。状況を高橋神父さまに伝え、連絡網で回すもの、回さなくてもいいものを相談し、信徒の皆様にご協力いただき現在に至っています。ご協力に感謝いたします。

3月29日ソーシャルディスタンスを保ちながら評議委員会を持ちました。内容は枝の主日、聖なる3日間についての準備です。(残念ですが、全てキャンセルになってしまいました。)先が見えない今ですが、*YouTubeでのミサ公開があります。信徒の皆様も参加されておられる事と思います。4月19日は(神のいつくしみの主日)でした。ミサの中で「神の慈しみ」に身をゆだね一人ひとりが慈しみの心を持つように努めましょう。と、お話がありました。今、私たちは全世界の信徒の方々と心をつなぐ「神のいつくしみ」について黙想し、感謝と希望の祈りを捧げたいと思います。大変な時ですがそれぞれ、与えられたお恵みに感謝し健康にご留意してお過ごしください。

高齢者支援委員会

高齢者支援委員会ではこれまで毎月2回、3~4グループで施設等におられる病者、高齢者を訪問していましたが、今年に入ってからインフルエンザ、新型コロナウイルスの影響で訪問を控えざるを得ない状況が続いています。このような状況の中、ご復活祭を迎えて、有志で相談してこれまで訪問している方々に復活祭のメッセージカードを郵送することができました。

お顔を直接見ることはできませんが、教会の皆さんが一人一人を心にかけていることが伝わり喜ばれたことと思います。(KJH)

*YOUTUBE ミサ公開

カトリック東京大司教区主日ミサ配信
<https://tokyo.catholic.jp/>
インターネットに接続できるコンピューター、タブレット、スマートフォンがあれば、ご覧になれます。お判りにならない方は、ご家族などにお尋ねください。

編集後記

節目となるきたすま 200号、それに続く201号、202号と新型コロナウイルスによる公開ミサ中止の中での発行です。教会閉鎖の為、印刷しても読んでくださる方がいるはずもなく、発行中止も考えましたが、ホームページ掲載による広報、後々の記録としての意味も考えて発行を決めました。現状でお伝えできる内容はB5版1枚。林神父さまの巻頭言と評議会からのメッセージ、高齢者支援委員会の活動の様子をお読みください。

(GTH)